

「雪どけ」

—初稿—

2023/12/17

雨森 れに

〈人物表〉

西田 ゆみか

(4)

祖父母に預けられている

西田 洋子

(24)

ゆみかの母親。出稼ぎに行っている。

祖母

(49)

祖父

(49)

〈ログライン〉

久しぶりに洋子と会えたゆみかが、予定より早く帰ってしまった洋子に怒り、許す。

〈ねらい〉

一緒にいけない親子の難しさ。子供の成長。

1. 西田宅・外観(夜)

駐車場のある一軒家。雪が降り、屋根や塀、停めてある車にも積もっている。

2. 西田宅・リビング(夜)

テレビにはキャラクターもののアニメが流れている。テレビの周りにはレンタルビデオの袋とビデオのケース、子供用の上着とニット帽が落ちている。

祖母(49)の膝でアニメを観ている西田ゆみか(4)。

ゆみか、眠そうに目をこする。

時計は21時を指している。

時計の近くに1月のカレンダー。12日までが赤いクレヨンでバツをつけられていて、13日から16日までマルがついている。

祖母がゆみかの頭を撫でる。

固定電話機のディスプレイが光る。表示は「ママ」

祖父が受話器を取る。

祖母、ゆみかを立たせて、上着を着せる。

ゆみか、祖母からニット帽を渡される。

ゆみかは満面の笑みでニット帽を深く被る。

3. 西田宅・外(夜)

祖父が車のフロントガラスの雪を落とす。

車に乗り込み、エンジンをかける。

4. 車内(夜)

祖父、寒そうにし、エアコンを最強にする。

ヘッドライトに降る雪が照らされる。

ライトの当たるところにゆみかが現れる。

祖父に向かって大きく手を振る。

祖父、微笑む。

後ろから祖母がゆみかを抱き上げ、車に乗り込んでくる。

ゆみか、祖母の膝の上で外の景色を見る。

5. 車外(夜)

広い県道。

コンビニの駐車場で小学生ぐらいの子供と夫婦が車に乗り込む。

6. 車内(夜)

ゆみか、コンビニの駐車場の方向をずっと見つめる。

7. 駅・外観(夜)

駅前のロータリーに西田家の車が停まっている。車の中には祖父だけがいて、煙草を吸っている。

8. 駅・構内(夜)

停まっていた電車が去っていき、人がまばらに改札を通る。

改札横の柵に掴まるようにしてゆみかがホームを覗き込む。

後ろには祖母。

改札内、10メートル先に西田洋子(24)が笑顔で大きく手を振る。

ゆみか、祖母の洋服を引っ張る。

祖母、ゆみかを抱き上げる。

ゆみか、洋子に向かって大きく手を振る。

洋子、スーツケースを引きながら走る。

改札を通り抜けた洋子、荷物をその場に置いてゆみかに走り寄る。

ゆみか、祖母の元から離れ、洋子に抱き着く。

洋子、ゆみかをきつく抱きしめる。

ゆみか、嬉しそうに笑う。

9. 西田宅・和室(夜)

リビングから続き間の和室。布団が敷かれ、洋子と

ゆみかが寝ている。
その隣にはスーツケースが開かれていて、絵本やおもちやが入っている。

10. 同・リビング(朝)

祖父が新聞を読んでいる。
ゆみか、赤クレヨンで13日にバツをつけ、開いている襖の奥の和室を見る。
洋子が布団の中で寝ている。

11. 同・外(昼)

雪だるまを作るゆみかと洋子。
洋子、ニンジンの切れ端を取り出して、自分の鼻につけてみせる。
ゆみか、笑って、ニンジンを受け取り、雪だるまの顔に押し込む。

12. 同・リビング(昼)

ゆみか、洋子、祖父母で昼食を食べる。

13. 同・風呂場(夕)

泡風呂に入り、泡で遊ぶゆみかと洋子。

14. 同・リビング(夜)

ビデオを観るゆみかと洋子。

15. 同・和室(夜)

絵本やおもちやがちらかると、眠るゆみか。
ゆみかの頭を撫でる洋子。
何かに気付いたようにリビングのほうを見る。

16. 同・リビング(夜)

電話のディスプレイが光る。「オオサカ」

17. 同・リビング(朝)

泣き叫ぶゆみか。
赤クレヨンを洋子に投げつける。
祖母がゆみかを抱いて捕まえる。
洋子、申し訳なさそうにスーツケースを持ち上げ、
部屋から出ていく。

18. 同・外(朝)

エンジンのかかっている車に洋子が乗り込む。

19. 車内(朝)

気難しい顔で煙草を吸う祖父。
助手席でうなだれる洋子。
祖父、運転を始める。

20. 駅・構内(朝)

電車が到着し、洋子が乗り込む。

21. 西田宅・和室(昼)

泣き疲れて寝ているゆみか。

22. 同・リビング(昼)

カレンダーが赤クレヨンで雑に塗りつぶされている。
壁にもクレヨンを投げたような汚れがある。
絵本やおもちやも汚れ、転がっている。
祖母、壁のクレヨン汚れを拭く。
祖父、カレンダーを外す。

23. 同・リビング(夜)

夕飯を食べるゆみか。
電話のディスプレイが光る。「ママ」
祖母が電話に出る。
祖母、ゆみかに受話器を差し出す。
ゆみか、イヤイヤとするように首を振る。

祖母、受話器を置く。

24. 同・リビング(夜)

寝支度を済ませたゆみかが絵本を読む。

絵本はクレヨン汚れがついている。

祖父がゆみかの隣に座る。

祖父、ゆみかの頭を撫でながら新しくしたカレンダーを指差す。

祖父は小さくなった赤クレオンを差し出す。

ゆみか、カレンダーを見上げ、首を振る。

祖父、困ったように眉をひそめる。

25. 同・外(朝)

雪だるまが少し崩れて、ニンジンが転がっている。

ゆみこ、ニンジンを拾って見つめる。

26. 同・外(朝)

雪だるまも雪がなくなっている。

27. 同・リビング(朝)

ゆみかがニンジン色と書いてあるクレオンでカレンダーの12日にバツをつける。

カレンダーは13日からすべてマルがついている。

電話のディスプレイが光る。「ママ」

28. 駅・構内(昼)

洋子がゆみこに走り寄る。

ゆみこ、洋子に抱き締められる。

ゆみこは洋子の背中を叩く。

洋子、きつく抱きしめる。

ゆみこ、叩くのをやめて、泣き始める。

おわり